

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患政策研究事業
分担研究報告書

黄斑部毛細血管拡張症2型に関する調査研究

研究分担者

東京女子医科大学・医学部・教授 飯田 知弘
京都大学・大学院医学研究科・教授 辻川 明孝
旭川医科大学・医学部・客員教授 柳 靖雄
琉球大学・大学院医学研究科・教授 古泉 英貴

研究要旨：黄斑部毛細血管拡張症 2 型は視力障害の原因となり、治療法が確立されていない疾患である。国際的にも診断基準がないため、厚生労働省網膜脈絡膜・視神経萎縮症調査研究班を中心として、我が国における診療ガイドラインを作成中である。

A. 研究目的

黄斑部毛細血管拡張症 2 型は視力障害の原因となり、治療法が確立されていない疾患である。国際的にも診断基準、診療ガイドライン、手引き等はないため、我が国における診療ガイドラインを作成することを目的に研究を行った。

B. 研究方法

診療ガイドラインを作成するために、過去に黄斑部毛細血管拡張症 2 型に関して報告されている論文を調査して、それぞれの研究で診断を行った検査所見などを抽出した。その上で、海外と国内の症例比較、診療ガイドラインに用いる症例の調査を行った。

(倫理面への配慮)

診療ガイドラインの作成であるので、倫理的問題はない。

C. 研究結果

黄斑部毛細血管拡張症 2 型診療ガイドライン (案) を作成した。症例画像に関しては、本邦では疾患症例数が少ないため、典型症例を選別して診療ガイドラインを作成する。

D. 考察

診療ガイドラインを作成することにより、疫学研究や将来のデータベース化に有用になると思われる。この成果を学会誌に今後発表予定である。

E. 結論

診療ガイドラインの策定は黄斑部毛細血管拡張症2型患者の福祉向上に寄与する。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし